

有限会社 キーポイントホーム

アレルギーから“解放”された

玄関で出迎えてくれた太田様の奥様に見覚えがあった。A T Vの夕方の番組「わっち」の「二刀流のお店」のコーナーで画面に映っていたお顔……。住宅展示場のリビングをリフォームして「ドックカフェ」をオープンした(有)キーポイントホームを、建築業と飲食店(ドックカフェ)を営む「二刀流」として紹介したのだ(2021年10月放映)。「カフェに来ているうちに家を建てることになって……」とインタビュアーに伝えていたお客様が奥様だった。竣工は今年3月。無垢のスギと漆喰の家に引っ越してきた途端に「愛犬の皮膚炎が治った」という驚きの体験談が聞けた。



ユーザー訪問

おさむ あかり

太田 収・明里 様邸

DATA

南津軽郡藤崎町

2022年3月竣工

■延べ床面積/26.00坪(86.11㎡)

■使用青森県産材/《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、カラマツ(梁)《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井)、スギ集成材(建具)、タモ集成材(階段)。

スギと漆喰の効果

リビングに入ると、「南はこちらです」と阿保勝之社長が指さしたのは、階段であった。南側には一般に採光のため大きな掃き出し窓をつけるが、「人目を避けるため」にあえて階段の位置をそこにしたという。「道路と敷地との離れが60cmしかなくて、掃き出し窓をつければ外



太田様ご夫婦と愛犬の「おはぎ」ちゃん。笑顔が“住み心地”を語る

からの視線が気になります」と阿保社長。レースのカーテンを引いておくにしても、人目を意識するからで、くつろげない。その「目隠し」になるのが階段なのだ。

もちろん、リビングが暗くならないよう充分に配慮されている。階段の壁面の上部をくり抜

き、2階の壁につけた掃き出し窓ほどの大きさがあるフィックス窓からリビングに明かりが降り注ぐ。直射日光だと眩しく反射するが、間接照明のような斜めの明かりが無垢のスギ肌をより柔らかに、また漆喰壁の白さを程良く抑え、全体に調和した色合いが、ほぐれるようなくつろぎをもたらしている。

奥様に抱っこされた愛犬(チワックス)の「おはぎ」ちゃん。静かだと思ったら、眠っているのだった。気持ち良さそうなのが寝顔。安らぎが表情に表れるのは犬も人も同じだ。



床や天井に使用しているスギと壁の漆喰が、居心地の良い空間を作り出しているリビング。天井の一部を吹抜けにし、そこから陽光が降り注ぐ



去年、おはぎちゃんは皮膚炎にかかった。病院で出された塗り薬を塗ってもなかなか改善しなかった。ところが、「この家に引っ越してきたら皮膚炎の二オイが消えたんですよ」と奥様。ご主人も、「嘘みたいでしたね。この家に入ったとたんにピタッとしなくなったんです、ほんとに」と目を丸くする。

—— ペットを飼い始めたのはいつからですか。

奥様の話 2年前からです。ホームセンターのペットコーナーに行ってみて、愛くるしいワンちゃんが気に入りました。ところが翌日買いにいったら、昨日はいなかった、もつと可愛

「おはぎ」ちゃんの表情が愛くるしい



キッチンに立ちながら「おはぎ」ちゃんの様子が目が届く



キッチンと対面するダイニング。収納棚の下部がスギと漆喰仕上げの「おはぎ」ちゃんの部屋に

いワンちゃんがいたんですよ。最初のワンちゃんには悪かったけど、買って帰ったのが「おはぎ」です。体が黒いからチョコとか名前をあれこれ考えましたけど、「可愛らしい」「おはぎ」に落ち着きました。

ご主人の話 普通は家を建てようと思ったたら、展示場や完成

見学会の家を見ることが始まるんですけど、私たちには新築の計画はまったくなかったんですよ。ペットを飼い始めたことが、結果的には家を建てることにつながったのですから、「始まり」はペットということになりますね。

奥様の話 おはぎを飼い始めたその年の秋(2020年9月)に、弘前に「ドッグカフェ」がオープンしたと知りました。検索してみたらキーポイントホームという工務店が、住宅展示場の中にドッグカフェを作ったんだそうです。「工務店」と「ドッグカフェ」の取り合わせがいまいちピンときませんでしたけど、それより、おはぎを遊びに連れて行ける場所が近くに出来たことが嬉しかったですね。毎日営業しているのではなく、インスタでその月の「営業日」をお知らせしているので、それに合わせて行ってみました。

ご主人の話 行ったら、はまったんですよ。いい雰囲気でした

ね。とにかく居心地が良くて、2時間も3時間も、いやもつと、4時間くらいもずっといましたよ。犬の食べ物のクツキーとかジャーキーとかも置いてあるし、お客様は愛犬家どうしだから共通の「犬の話」もできるし、犬たちも居心地がよさそうで吠えないし、良い場所に巡り合えた気分でした。何時間というより、昼に行つて夕方までだから半日も過ごさせてもらいました。くつろいで過ごせるのは、実は、展示場の床とか柱とか天井などに使っているスギと、壁の漆喰が居心地の良い空間を作り出していたんだと、わが家を建ててから実感しましたよ。

相談できる安心感

奥様の話 おはぎも、体調が悪いときがあつて、そうなる心配になりますよね。すぐ病院に連れて行くんじゃないかと、相談する人がいたり、集う場所があればいいんだけど、ありません

でした。ですから、ドッグカフェに行つて、何より良かったのは、ペット食育士の昌子^{まさこ}さんや、ドッグトレーナーの采永^{さいえい}さんに出会えたことでした。食べ物のこと、しつけのことなど犬のことなら何でも相談できる安心感です。すごいですよ。

ご主人の話 展示場の玄関から入ると、右がドックカフェ、左が住宅の見学スペースに分かれています。壁で仕切つていまして、壁からカフェから展示場の室内が見えるのです。そういえばキーポイントホームは工務店なんだって、住宅部分を見学しているお客様の姿を見て改めて気づいた思いでしたね。

奥様の話 ある日、「事件」が起こったんです。それをきっかけに家を建てることになったんですから「事件」でした。おはぎが、部屋の中で何かとじやれ合つていたんです。手の先の、小さな黒いものが、ゴキブリだと気づいたときのショック！ わたし、駄目なんです、ゴキブリ。



(左)浴室、トイレ、洗面脱衣室をひとまとめにしたコーナーの洗面化粧台。鏡の周りにはタイルを貼り、棚はスギを使った手づくり
(右)ときにはギターをつまびくご主人のフリースペース

ダンゴ虫とかでも我慢できないのに、ゴキブリのいる部屋でなんてとても暮らせません。すぐに昌子さんに連絡しました。家を建てたいって。

ご主人の話 家について相談したのはそのときが初めてでしたが、考えてみれば、昌子さんはホームアドバイザーで、家づくりが本業なんですね。

奥様の話 藤崎町の主人の父親に相談したら、「土地の一部を提供するからここに建てればいい」となったんです。恵まれました。

ご主人の話 おはぎを飼うことでキーポイントホームのドックカフェと出会えたとし、ゴキブリを見つけてくれた(?)のもおはぎだし、それで家を建てることになったのだから、おはぎのお陰です。おはぎ自身が「快適に暮らせる家」に私たちを導いてくれたんですよ。

阿保社長の話 地元の木が、家にも、住む人にも一番良く馴染む——当社ではそこにこだわっています。この「馴染む」ということが健康を大きく左右するポイントだからです。それは、これまで建てた多くのお施主様の体験談が物語っています。犬がぐっすり眠るようになったし、トイレの数も減った、咳をしなくなった、お施主様が高血圧の薬を飲まなくても良くなった——などなどたくさん実例があります。

体に「合う」と健康になり、くわわない」と病気になる。無垢のスギと、陸奥湾産ホタテ貝殻漆喰を使うのは、青森県産

の二つの自然素材の消臭抗菌効果が相乗して生み出す室内環境が、人にもペットに合って健康になるからです。おはぎちゃんにもその効果が歴然と現れたわけですね。

家の中に入っただけで皮膚炎が良くなったということは、室内が「アレルギー」から解放された「環境」だからです。家そのものが「アレルギーフリー」なのです。太田様ご夫婦ともアレルギーがあるとお聞きしていましたが、おはぎちゃんと同様に改善されているようです。腕の中で気持ち良さそうに眠るペットに向ける飼い主の安らいだお顔——。これこそ快適で健康な暮らしを象徴する光景ですよ。

■太田様邸の特徴

- ①リビングの造り付け棚の下部が愛犬の居場所(無垢のスギと漆喰仕上げ)
- ②エアコン1台による全室冷暖房(リビングのガラリ戸の内側にエアコン本体を収納)
- ③除菌脱臭装置「イオンクラスター」内蔵の24時間換気



有限 株式会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
http://www.ki-pointhome.com/
E-mail: staff@ki-pointhome.com



「あおり産・木の家」常設展示場&ドッグカフェ

有限会社 キーポイントホーム

赤ちゃんが健康で暮らせる

玄関周りにレンガタイルを張った明るく綺麗な外観が目の前に見えたところで、カーナビが目的地に到着したことを告げた。今回ご紹介の戸沼様邸は、ご主人が2年前（2020年）に29歳の若さで建てた、と（有）キーポイントホームの阿保勝之社長から聞いていた。玄関へ誘うように煉瓦敷きのアプローチが伸び、その脇にカラフルな碎石をあしらった端に、半円形に囲った小さな花壇を添えてある可愛らしさが、いかにも若夫婦の住まいだ。「これ、みんなご主人が作ったんですよ」と阿保社長。器用というよりも、念願のわが家に注いだ愛情がうかがえる。インターホンを押すと、施主の戸沼廉様が出迎えてくれた。



ユーザー訪問

戸沼 廉・麻珠 様邸

DATA

弘前市千年

2020年10月竣工

■延べ床面積/32.06坪(105.99㎡)

■使用青森県産材/《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、カラマツ(梁)《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井)、スギ集成材(建具)。

「いい家見つけた」



玄関へ導くご主人手作りの煉瓦敷きのアプローチ

家の中にお邪魔する前に、「先にこれを見てください」と阿保社長が裏へ向かった。裏庭に小屋が建っていた。「これもご主人が作ったんですよ」と阿保社長。小屋というよりは「離れの書斎」としても使えるようなしっかりした造りだ。柱を建てて屋根を架け、外壁に板を張る作業を二人でこなすのは、簡単なことではない。「これもなんですよ」と阿保社長が指差したのは、リビングの掃き出し窓の外

「この家の間取りまでご主人の手によるものだった。」何も問題のない完成されたプランでしたから、そのまま建てさせていただきました」と阿保社長が楽しそうに笑った。

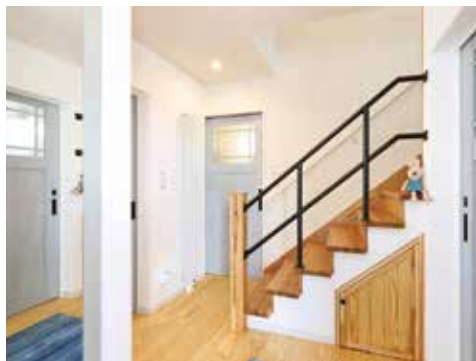
ご主人の話 生まれてくる子供を良い環境で育てたい、と思ったのが家を建てるきっかけでした。住んでいたアパートや、私の実家は温度差が大きくて、とくに風呂上りはたちまち体が冷えていくのが分かるほどだったから、あつたかい環境で赤ん坊を育てたかったんです。まず土地を買わなければならぬので、ネットや不動産屋の情報だけでなく、自分でも動いてみよう、と、車で走りながら売地の看板を探しているうちに、

に設けてあるウッドデッキ。ご主人がネットで材料を取り寄せて自分で製作したのだとか。

そればかりではなかった。取材を始めてから知ったことだが、なんとこの家の間取りまでご主人の手によるものだった。「何も問題のない完成されたプランでしたから、そのまま建てさせて



県産スギの無垢材と漆喰を使用したアレルギーフリーのリビング



すっきりとした透かしの階段手すりが玄関ホール周りを広く見せる

目に留まったのが、土地じゃなく、キーポイントホームの展示場だったんです。以前、展示場が何軒かがまとまって建っているハウジングパークを見学してはいたけど、キーポイントホームの展示場を見た瞬間に、「いいなあ」って惹かれたんです。すぐに見学希望の電話をかけました。

阿保社長の話　せっかくご連絡を頂戴したのに、すぐ対応できなかつたのは、まだ正月休み中だったからです。当社の仕事始めの1月6日においていただくことにしました。ご主人がまずお一人で来られ、それから日



明るい陽光が射し込むリビングの掃き出し窓



戸沼様邸に初めて採用した家の形をした「リモコンコーナー」。屋根の勾配は実際の戸沼様邸の屋根と同じという

を置かずに奥様を連れて再度いらっしゃったのですから、気に入ってくださったようです。お子さんの誕生のご予定は秋で、それまでに建てるご計画だとか。まだ20代とお若いのに、しっかりと計画を立てて人生を歩まれているご夫婦でした。ぜひ、生まれてくる赤ちゃんのためにも快適な「木の家」を建ててほ

しい——。結果的には、新年のスタートに見学に来られた「幸先いい」予感は、実りました。奥様の話「いい展示場を見てきた」って主人が興奮して帰ってきたんですよ。「すごくいいから一緒に見にいこう」って。行つて、わたしがまず確認したのは、「二オイです。あのときはとくに体調が敏感な時期だったから、二オイがあればもうそれだけでダメなんですけど、展示場にはまったくありませんでした。空気が澄んでいる感じでしたね。他社の展示場とか、建売りとかも見学していたんですけど、ダメだったんです、あの化学物質の二オイがつーんとき

て。具合が悪くなりまして。ですから、主人は建物の断熱とかに関心があって、本をいっぱい買ってきて勉強していたけど、わたしはもう二オイさえなければ……。

——キーポイントホームで建てたお客様の家も見学されたそうですが、二オイはどうでしたか。

奥様の話「全然しませんでした。展示場と同じでしたね。拝見した3軒ともそうでした。その中で、間取りで気に入ったのが黒石のお宅でした（佐藤様邸。2020年竣工。『青森県産材の家』No.XIに掲載）。キッチンから隣の洗面所に行け、洗面所から玄関ホールに出られて、リビングに入れる。ぐるっと回るようになっていました。行き止まりがないからスペースが広く感じられましたね。もちろん、わが家も回遊動線にしました。

ご主人の話「住んで間もなく、住宅の「気密」を実感する出来事がありました。ドアなんです。玄関ドア。いつもなら引けばすぐ開くの、開かなくて、ん？」

「と思って少し力を入れたけど鍵をかけたみたいに開かなくて、もつと力を込めたらやつと開いたんです。なんで開かなかつたのか。鍵の故障でもないようだし……、そのうちにキッチンの換気扇の音が聞こえて、ひょつとしたらと思つたら、そうだったんですよ。換気扇に



キッチンから隣の洗面脱衣室に行け、そこから玄関ホールに出られ、リビングを通過してキッチンに戻る回遊動線が奥様の大的お気に入り



必要に応じて2つに仕切られる子供部屋。
現わしの梁の木の感覚が室内に漂う

吸い込まれる空気が、家の内側から玄関ドアを引つ張っていたんです。それだけ家に「隙間がない」ということなんです。阿保さんから、この家の気密性能の数値を聞いてはいましたけど、あの体験で実感しました。奥様の話 わたしもびつくりしたことがあります。暖かさです。リビングのあつたかさや玄関とがかわらないんですよ。廊下も洗面も、トイレの中までそうなんです。今の住宅は断熱が良いからなんです。うけど、アパートとか実家ではストーブを点けている部屋から出れば震えましたからね。それと湿気ね。結露して窓が濡れるからスーパで売っている湿気取りを窓や押入れに置いていたけど、必要なくなりました。どこ

もみんな夏は涼しく、冬はあつたかいし、生まれた娘に不快な思いをさせなくて良かったです。床も無垢の木だから安心だし、肌に柔らかいしね。

破格に安い光熱費

ご主人の話 もう一つあるんです。うちはオール電化なんです。ど、え？ と思うくらい電気代が安いんですよ。一番電気を使うのは冬の暖房（パネルヒーター）で、それでもひと月に高くて3万円です。オール電化じゃなくて、暖房がFFストーブなら灯油代もかかるし、コンロのガス代もかかるから光熱費はもつとかがかっているはずですよ。暖房を使わなくなると電気代も下がって、6月は1万3000円でした。年間にすると約18万円です。この状態に住んでいる限り続くんだから、すごいですよ。

均すれば年間で40万円くらいかかると思います。戸沼様邸はそれが18万円ですから、半分以下で済んでいるわけです。その差が、住宅性能の違いなんです。断熱・気密性を高めるには工事費がかかるけど、快適に暮らしながら10年で元は取れますし、しかもその後は浮いた光熱費がローンの返済に回せるのですから、いかにお得かが理解いただけるでしょう。逆に、性能の伴わない住宅は、住んでいる限りエネルギーロスをしなから、光熱費が高み、結露し、不健康な環境での生活が強いられるのです。

断熱・気密は快適な暮らしを送るために欠かせない条件です。快適だからこそ健康で長生きできるのです。加えて、県産のスギの無垢材と漆喰を使った抗菌効果のあるアレルギーフリーの室内は、生まれたばかりの赤ちゃんを柔らかく優しく包んでくれます。家族の健康を守ってこそ「家」だと考えます。



有限会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
http://www.ki-pointhome.com/
E-mail: staff@ki-pointhome.com



有限会社 キーポイントホーム
「おもり産・木の家」常設展示場&ドッグカフェ

有限会社 キーポイントホーム

「熟睡できるんですよ。もうぐっすり。子供たちもね」と十川様の奥様が感激の口ぶりで話す。「いつまでも寝ていたいくらいですよ」と隣でご主人もうなずく。快眠こそ健康の第一歩。三角屋根を生かしてスギの羽目板を張った寝室の高い勾配天井が、見上げる目に柔らかく温かく、心身が解放される安らぎをもたらしているのだ。「家」そのものが高性能の「断熱・気密・施工」にしっかりと包み込まれているからこそ得られる「熟睡できる」快適さにご満悦の十川様だが、実は、(有)キーポイントホームにたどり着くまで、「疑心暗鬼になった」ほどに2転3転の波乱な工務店探しの道のりであった。

階段を中心にして周りをぐるりと回れる回遊動線が、「とってもいい」と奥様のお気に入りだ。玄関ホールから、階段脇を通ってキッチンへ行き、キッチンからリビングを通して玄関ホールに戻る。その逆からも行ける。2階もそうで、主寝室から、隣のご主人の書斎コーナーと、続きのウォークインクローゼットを通り抜けて、廊下

に出られる。逆からも回れ、突き当たることがない。吹抜けを挟んで向き合う窓は、2人のお子様の子供部屋。窓を開ければ声をかけ合える。「下からも子供たちを呼べるし、子供たちも上から話しかけられるのが便利」と奥様から聞いて、吹抜けは、声の回遊動線でもあると気が付いた。ご主人の話 当初は、私の弘前の実家の隣に建てる考えもあつたんです、土地を分筆し

ぐるり回れる動線

室内の空気が澄んできれい



ユーザー訪問

十川 和広・修子 様邸

DATA

五所川原市松島町

2022年4月竣工

■延べ床面積/42.33坪(139.94㎡)

■使用青森県産材/《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、カラマツ(梁)《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井)、スギ集成材(建具)。





漆喰壁の白と美しいスギの木目が調和したリビングとキッチン



新居に大満足の施主の十川ご夫妻

「ぐっすり熟睡できます」

て。でも、小学校が近くにないのがネックでした。

奥様の話　そこに朗報が飛び込んできたんですよ。五所川原のわたしの両親が住んでいる隣の土地が、売りに出されるというんです。その土地なら小学校も近くにあるし、親が隣だし、格好の場所です。——そこまでは恵まれたんですよ。その後の家づくりもスムーズに進むかと思っていたら……。

奥様の話　（大きく頷いて）初めは、大手のハウスメーカーに頼めばちゃんとした家が建つものだと思っていたんです。大手のほうが安心できると。身近に知っている工務店とか建築家がいいたらその人に相談するのでしょうか、いませんし、身近といえばわたしの妹が3年前に家を建てて、頼んだところが大手ハウスメーカーでしたが、まずはそこに声をかけてみようと、そういう流れだったんです。

——そこまでは順調に……。

奥様の話　あれ？　と首をひねるようになった発端は「W断熱」でした。ネットとか住宅雑誌とかを見て「W断熱」を知ったんです。「内断熱」「外断熱」は聞いたことがあつ



「ここに立って、和室が見えることが要望だったんです」と奥様。ダイニングテーブルから真っすぐ先に見える、リビングの隣の和室が住まいに奥行きをもたらしている

たけど、「W」なら「内」からも「外」からも壁を挟み込んで断熱するのでしようから、効果がありませんか。それで、これは今お話したハウスメーカーとは別の住宅会社の人なんですけど、「W断熱にしたいです」って言ったら、「W断熱は北海道の断熱仕様です。青森は北海道より寒さは厳しくありませんから外断熱で充分です」だって。それだけじゃないんです。太陽光発電のこともそうで、自然のエネルギーを活用

するのだから今の時代はむしろ歓迎されるはずなのに、「青森は雪が積もるし、日射量も少ないから元は取れませんよ」と、こうですよ。この住宅会社の人も、ハウスメーカーの人もそうなんですけど、こつちが要望することを、はね付けるんですよ。否定するんです。その上で、「W断熱にするのであれば追加がかかります」とくるんです。こつちの要望を満たしてこそ注文住宅じゃないですか。なのに、会社サイドで決めた内容を基準にしてそれ以外はすべて追加になるのであれば、自由設計なんて名前ばかりですよ。疑心暗鬼になりましたね。

ご主人の話 あちこちの展示場やら見学会の家などを見て歩きましたよ。全部で30社くらい。見れば見るほど迷って混乱しました。

いったん冷却期間を置きましたけど、建てなければならぬのだから、結局同じハウスメーカーの、違う営業所に替え



キッチンの奥(左)から玄関ホールに出られ、また手前のダイニングからリビングを通っても玄関ホールと通じている回遊動線

て話を進めて、ようやく契約を交わしたんです。それでも、結果的にはだめになりましたけどね。

奥様の話 契約して、これで大仕事を成し終えてほっとしたのも束の間、打ち合わせの段階になったら、それまで細かく話し合ってきた営業担当者がびたりと顔を出さなくなってしまうんです。その人は、「契約するまで」の営業の人で、契約後は仕事を担当する人と打ち合わせをする、というシステムに

が家を建てて、見せていただく機会があったんです。素敵なお家でした。社名がカタカナだったから、全国展開のハウスメーカーかと思ったら地元の仕事場で、展示場があるというので見学しました。その工務店は『eco住研』(eco住研ひろさきへん)という地元の5社からなるグループに所属していて、各社それぞれに展示場があるということでした。見学した中に、キーポイントホームがあったんです。

な展開に……。

奥様の話 職場の同僚

「……そこからのよう

なっているんですね。ここでもまた会社の都合を押し付けられた気がしました。建てた家に生涯住むのは私たちなんですよ。」を抱えたままの暮らしが快適とは到底思えません。それで白紙に戻すことにしました。

求める家と出会う

「ご主人の話 初めは妻が一人で見に行ったんです。「空気がすつごく良かった」と興奮した口調で言っていましたよ。後日、私も一緒に見学に行ってみて、その意味が理解できましたね。空気がきれい、静か、快適——と、言葉にすればそうなるのでしようけど、私たちを包み込むように受け入れてくれたあときの空気感。清水みたいに澄明な、って言うんですよ……。要は、出会ったんですよ、私たちの求める家に。」

奥様の話 それまでの営業マンの対応と阿保さんとの違いは、「否定しない」ことです。いったん受け入れてくれます。一緒に考えてくれて、もつといい方法を提案してくれます。もちろんW断熱もOK。というよりキーポイントホームの家はW断熱が標準仕様になっているんだそうです。ハウスメーカーの「追加」とは根本的に姿勢が違いますよね。太陽光発電もむろんOK。見学したお客様の自宅の屋根にも太陽光パネルが載っていましたよ。それと、阿保さんは対応がスピーディです。聞けばその場で、すぐ答えてくれるのが私のストレスを解消してくれました。また、私たちは、子供が小さいことから、子育てのしやすい家、結露や温度差がなく、健康でアレルギーやヒートショックのない室内環境が希望でしたので、それを叶えて貰いました。

阿保社長の話 当社に決めていただくまでにずいぶんとご苦労されたようです。住宅は一生に何度もない買い物ですから、

まずは「安心感」を求めるのは十川様ばかりではありません。今回、十川様のお宅を建てさせて頂いて、あらためて感じたのは「地元工務店の役割」ということです。家という箱を売るのではなく、「暮らし」を提供すること。

その地域での家づくりには、その地域で採れる素材が一番合います。地元の山で育った「木」にこだわり、地元のホタテ貝殻入り漆喰を使うのもその考えからです。

十川様邸は、屋根に太陽光パネルを5・4kw搭載した「ZEH」(ネットゼロエネルギーハウス)になっています。自然素材に囲まれた室内の心地良さと、健康に配慮された上で、電気を自給できる、時代に合った暮らしの実現です。

.....

■〈注〉eco住研ひろさき

弘前・津軽地域を中心に、エコで省エネルギーな住宅づくりを志す地元ビルダー5社が結成した工務店グループ。



2階の主寝室。勾配天井に張ったスギの柔らかな木目が眠りを誘う



「あおもり産・木の家」常設展示場&ドッグカフェ



有限 会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
<http://www.ki-pointhome.com/>
E-mail: staff@ki-pointhome.com

有限会社 キーポイントホーム

床を裸足で元気に走り回る

「買おうと目星を付けていた土地が売れてしまったときはショックでした」と、K様ご夫婦は振り返る。そこで、いい土地が見つかるよう「善行を積む」ことにして、休日には近くの公園のゴミ拾いに精を出した。足で情報を得ようとご主人が町内を歩いて探していると、あったのだ、「売地」の看板が。その場で不動産屋に電話を入れた。次は工務店。見学したい展示場があったから連絡したら、構造見学会を開催中だという。行ってみた。その現場の奥様が、K様の奥様の職場の元上司だと後で知って、親近感を覚えた。(有)キーポイントホームへ導いたのも善行の功德かも……。



ユーザー訪問

K様邸

DATA

青森市久須志

2021年10月竣工

■延べ床面積/35.94坪(118.82㎡)

■使用青森県産材/《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、カラマツ(梁)《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井)、スギ集成材(建具)。

高い「C値」に信頼

ご主人の話 なんとたつて子供たちが元気に走り回る姿が一番ですよ。家を建てて良かったつてしみじみ思いますね。無垢のスギが裸足に心地いいし、それに間取りもいいんですよ。室内のどこも回遊動線になっているから、子供たちが走り抜けられるんです。こもそうなんですよ(ご主人が案内してくれました)。この脱衣室の引き戸を開ければ、隣のウォークインクローゼットとつながっていて、そ



子供たちも大喜びの天井のアスレチックネット

けられるし、子供部屋も仕切らない開放した空間になっているから、お友だちが遊びに来たときにはもう運動会でしたね。——リビングの一部が吹抜けになっていて、そこに網を張っています。それは？

ご主人の話 アスレチックネットです。ハンモックにして使っているんですよ。単なる吹抜けではなく、何か付加価値を持たせたいと思っていたところ、ネット情報だったか住宅雑誌だったか、ハンモックにしている写真を見て採用しました。子供たちも大喜びで、寝そべっていますよ。天井の照明器具がプロジェクターにもなっていて、壁に引き下ろしたスクリーンに映像を映します。休日のたまり場です。

こをスルーして玄関ホールにぐるっと戻れるんです。2階もそうですよ。廊下にあるクローゼットが通り抜



夏・冬一年を通じて温度ムラのない快適なリビング。中央に据えられた掘りごたつ式テーブルはキーポイントホームのユーザー様邸を見学して気に入って採用した

奥様の話 以前は借家に住んでいました。子供が学校に入るまでには建てる計画でしたが、その住んでいた借家が古くて、隣家との壁も薄いものだから、ドンドンって叩かれたことがあったんですよ。子供だもの元気に遊ぶよね、とは思ったけれど、隣にしてみれば気になる騒音なんですよ。いちおう注意はしたけど、なんか子供に悪くてね。もう早く土地を買って建てなくちゃ、って思ってた……。

ご主人の話 土地を探して久須志界隈を歩いていたら、思わぬ所に「売地」の看板が立っていたんですよ。売れてしまった土地よりも格段に広いし、今通っている保育園も変わらなくていいし、小学校にも近いしね、こっちのほうがずっといい土地でした。即、不動産屋に電話をして抑えましたよ。

——キーポイントホームとの出会いのきっかけは？

ご主人の話 私の実家が弘前にあるんですが、用事があって



リビングの掃き出し窓の向こうには庭へとつながるウッドデッキが



動線の先に「壁」がないぶん室内が広く感じられる

実家へ行くときに、そういえばキーポイントホームの展示場が途中にあるようだから、寄って見学してみよう、と電話をかけてみたんです。そしたら、ちょうどその日(2020年11月)、青森市羽白に建築中の現場(田中規雄様邸。2021年竣工)で「構造見学会」を開催しているというので、展示場は次回にして、見学会に行ってみよう。

奥様の話 驚いたのは、その現場の「C値」です。へ1以下でした。すごいですよ。阿保社長の話 「C値」とは隙間相当面積のことで、見学いただいた田中様邸のC値は0.1cm²/m²です。総隙間相当面積が30cm²で、施工した床・壁・天井に合計で30cm²しか隙間が無いことを示します。名刺の大きさが(9×5.5cm)が45.5cm²ですから、さらに一回り小さい面積になります。

(「C値」をネットで検索してみました。——一例として、《延べ床面積が40坪(132.2m²)でC値がへ5なら隙間の面積は660cm²で、これはハガキ約4×5枚分に相当する。C値がへ2なら、ハガキ約2枚分》とあった。——へ1を切るC値がいかに気密性が高いかが分かる) ご主人の話 C値がへ1以下で、しかもほとんどへ0に近いへ0.1というのだから、正直、地元工務店のレベルを見直す思いでした。いや、キーポイントホームを、ですね。阿保社長の話 K様ご夫婦が見学会に来られたその日に、現場で専門家による気密測定試験を行いましたから、まずはその数値をご夫婦にお伝えしたのです。建物の断熱・気密を高めるためにこういう施工をしているのだと知っていたため、このための構造見学会ですからね。

通常「C値」は1.0cm²/m²を切ると「気密住宅」と言われます。雪国の北海道や北東北3県では0.5cm²/m²の気密が必要だと言われ、死守目標とされています。ちなみにK様邸もC値は0.1cm²/m²でした。木造建築の骨組みだけが大工技術ではなく、生活の質を保つ断熱気密施工技術が、これらの住まいづくりには不可欠です。設計数値が、現場ですっかり施工されているかが大事。家の床・壁・天井にしっかりと断熱・気密を施した上、室内に木や漆喰を使うことで、視覚や嗅覚から入る癒しを体感できます。生活していく上で、家計にやさしく低燃費、そして夏・冬1年通じて温度ムラがなく、気持ちよく快適に暮らせることは、身体にも心にもストレスが掛かりません。このような家を建てて、生活できることが、家族が心豊かに健康で暮らすことに繋がると思っています。

庭とつながるデッキ

奥様の話 これは構造見学会

を拜見した後で知ったんですけど、その見学会のお宅の奥様が、わたしの職場の元上司だったんですよ。そればかりじゃありませんです。そのお宅のご主人も、うちの主人と職場が一緒だったんですよ。今年の三月で退職されたようですけど。夫婦とも職場がつながっている偶然があるものなんです。キーポイントホームが身近に感じられるようになったのは、それ以来です。やはり人とのつながりって大きいですよ。

結局、そのこともあって、絞り込んだ数社の工務店のうち、施工技術の高さとか、県産材を積極的に使う企業姿勢とかも含めて、キーポイントホームに最終決定しました。

ご主人の話 間取りが決まり、次は見積もりです。金額は、予算オーバーでした。阿保さんによると、予算内に見積もり金額が収まった例はないそうです。そういうものなんだそうです。さて、どこを削るか。キッ

チンとか洗面化粧台とか設備のランクを下げて調整することにしました。設備品なら後で買い替えることができますからね。最終的に迷ったのは(東南側の窓を指さして)ウッドデッキです。これを付けなければぐつと当初の予算に近づくんだけども、庭への出入りにデッキがあれば便利そうだし、屋根があるから直射日光が射し込まないし、それに子供たちの遊び場にもなるしね。付けることにしました。付けて大正解でしたよ。掃き出し窓を開ければリビングと続きの空間みたい広く使えるし、容易に通風が取れるし、外からの視線もデッキで遮られるから気にならないし、かけたお金の価値がありましたよ。

奥様の話 いい土地に恵まれたこともそうですけど、展示場を見学しようと電話したら、見学会を開いていて、そのお宅のご夫婦と私たちが職場でつながっていたというご縁でキーポイントホームへ導いてくれたの、もしかたありませんね。



三角の屋根勾配を利用した主寝室のロフト



付けて大正解だったというウッドデッキ



有限会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
http://www.ki-pointhome.com/
E-mail: staff@ki-pointhome.com

| | | | |
|---|-------------|-------------------|---------|
| N ● 薬王堂 | ● 杉山歯科クリニック | GEO ● 南警察官駐在所 | ● かつば寿司 |
| ● しまむら | ● ローソン | ● 輪寛 ● マックスバリュ | |
| ● バチンコトマト | ● げんこつ屋 | | |
| ● 広野パティンセンター | | ● サンデー | |
| 有限会社 キーポイントホーム 「おもろ産・木の家」常設展示場&ドッグカフェ | | | |